大学スポーツの振興に関する検討会議資料

全国体育スポーツ系大学協議会

会長　　松浪　健四郎

①　大学トップ層への理解の醸成

1. 体育・ スポーツ施設への補助金拡大

建設、リニューアル、観客席設置 等

2. スポーツ推薦入学の奨励

大学の活性化、愛校心の醸成

3.　一般教養科目「体育実技」の必須化

健康寿命の延伸、地方活性化、生涯スポーツ

4. 大学体育・ スポーツ施設の利用（解放）

地域社会貢献（クリニック、クラブ、運動会等）

5. 日本版NCAAの設立　　（仮称　ＪＵＳＦ）

現在の大会（旧七帝大大会、歯・ 医大会等も含む）をすべて認めて主催者をＪ USFとする。

6. 学長等をブロック別に集め潜在力説明会の開催

②　大学スポーツの収益力の向上

1. 体育・スポーツ局の設置

学生、運営等すべての管理、 TV出演

2. スポンサー（企業） 導入の容認（税制）

学生負担の軽減、遠征・ 合宿費の捻出

3. 施設の貸出し

使用料収入・

4. スポーツクラブの設置・ 運営

幼児、児童、社会人を対象

5. ユニホーム、グッズの販売

6. 企業・ 団体研修サポート事業の展開

講師、指導者派遣

③　スポーツ教育、スポーツ研究の充実

1.プロ・アマスポーツ観戦に学生割引を義務化

見ることを奨励、ファン層拡大

2. 各種大会等応援優秀団体の顕彰

支える人々の顕彰、応援マナーの向上

3. 登山、キャンプ、スキー、スケート等の支援策を探る

スポーツ・ツーリズム、地方再生、生涯スポーツ

4. 国立スポーツ科学センター（JISS）の充実

医科学支援・ 医科学研究・ 診療の3事業に情報収集事業を追加させる

5. 秩父宮記念スポーツ博物館・ 図書館内に

「スポーツ文化研究所」又は「オリンピック文化研究所」を設置する

6. 日本体育図書館協議会の組織拡大と連携

プログラム（大会用）パンフレット等に知的ページを加える

7. スポーツメーカー、医療機関、食品・医薬品メーカーとのコンソーシアム設立

8.　支援学校設置に協力

すべての子どもたちにスポーツを!

④学生アスリートのデュアルキャリア支援

1. JOC「アスナビ」事業の拡大

2. スポーツ・トレーナー、インストラクター等の資格付与

（例）J PSU・スポーツトレーナー

3. インターンシップの奨励

4. J ICA（青年海外協力隊）と連携

途上国へ指導者を派遣し、国際人を養成

⑤ 大学スポーツの地域貢献

1. 地方自治体との連携　　（例日体大）

「子どもに夢を、お年寄りに健康を！」

2. 小・中・高へ補助指導者として学生派遣